



学校通信 赤坂小だより

令和7年度 第18号 R7.11.19

北九州市立赤坂小学校

校長 大成 清徳

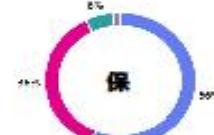
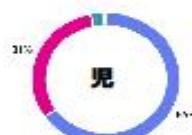
前期を振り
返って

アンケートへのご協力ありがとうございました

実施日：令和7年 7月

1 【学校は楽しいところ】楽しく学校に通っている。

- よくあてはまる
- だいたいあてはまる
- あまり あてはまらない
- まったく あてはまらない



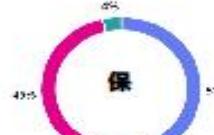
2 【基本的生活習慣】進んで挨拶をしたり、時間を守って学校生活を送ったりしている。

- よくあてはまる
- だいたいあてはまる
- あまり あてはまらない
- まったく あてはまらない



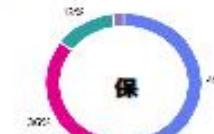
3 【思いやりの心】「友達に優しくする」「生き物や命を大切にする」などの優しい気持ちをもって、学校生活を送っている。

- よくあてはまる
- だいたいあてはまる
- あまり あてはまらない
- まったく あてはまらない



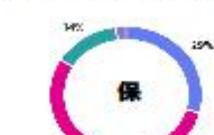
4 【運動】体を動かす遊びやスポーツをすることは好きである。

- よくあてはまる
- だいたいあてはまる
- あまり あてはまらない
- まったく あてはまらない



5 【自尊感情】「自分にはよいところがある」「いろいろなことにチャレンジしよう」という気持ちがある。(保護者：子どもは、よいと思ったことを進んでいます。)

- よくあてはまる
- だいたいあてはまる
- あまり あてはまらない
- まったく あてはまらない



6 【関係づくり】嬉しいことや困ったことは、先生に何でも相談できる。 (保護者：学校は、子どもたちのことを相談しやすい。)

- よくあてはまる
- だいたいあてはまる
- あまり あてはまらない
- まったく あてはまらない



◎ご協力いただいた前期アンケートの結果をお知らせします。質問「楽しく学校に通っている」や、「自分にはよいところがある」に肯定的な回答をしている児童は共に90%を超えており、日々の授業や学校行事を通して、自己有用感を感じられているということは、私たち教員にとっても励みとなります。保護者の方からも肯定的な回答を多くいただき、感謝申し上げます。今後とも、本校の教育活動にご理解とごきよう旅行を賜りますようよろしくお願ひいたします。

『読書の秋』～本に親しもう～図書委員会の取組

◎「北九州市子ども読書の日」に合わせて、図書委員会では、学校図書館をもっと利用してもらおうと様々な取組を行いました。

各学年で貸出数の多い本を集計して、ベスト3～5を紹介するポスターを下足センター前に掲示し、「読んでみたいな」という気持ちを高めています。



給食時間には、放送で子どもたちがよく知っている物語の登場人物の特徴を読み上げて誰かを当てるクイズをしました。昼休みは新しくなった図書館に低学年の児童を集めて、読み聞かせをしました。毎回、部屋いっぱいになるほど好評でした。最終日には、学校図書館職員の佐々木先生にも読み聞かせにご協力いただき、子どもたちは食い入るようにお話に夢中になっていました。

ご家庭でも、お子様と一緒に読書を楽しむ時間をとるなど、本に触れる機会を増やしていただけすると子どもたちの読書する習慣もより身に付いていくと思います。よろしくお願いします。

◆伝統芸能体験【6年生】能舞台で謡披露

◎11月16日(日)に八幡東生涯学習センター尾倉分館にて開催された「子どもと留学生の能楽発表会と異文化交流会」において、本校6年生の有志が連吟「土蜘蛛」を能舞台で謡いました。これは、昨年度より、6年生の国語科で能楽のゲストティーチャーとしてお招きしている杉岡敏英師範からの声掛けにより実現したものです。6年生は、初めての能舞台で緊張した面持ちでしたが、しっかり声を出して、演目をやり遂げることができました。この日は、留学生による仕舞や小中学生の狂言、舞囃子を見学し、ネパールの古代楽器「ヒマラヤシンギングボール」の体験もさせていただきました。様々な文化を味わうことができ、大変貴重な機会となりました。



1,2年生 芋ほり体験

大きくなたくさん
実ったよ!



こんなに
取れたよ



◎11月17日(月)、1,2年生は、ふるさと会の皆さんのご指導の下、春に学校の畑に植えたサツマイモの収穫を行いました。昨年、例年より収穫が少なく、こぶりだったこともあり、ふるさと会のみなさんが肥料をやって土壤を改善してくださったお蔭で、丸々と育ったイモをたくさん収穫することができました。子どもたちは土の中から掘り出したイモを見て、歓声を上げていました。作物を植え、育て、収穫する喜びを味わうことができました。その後は、朝顔を植えていた鉢にチューリップの球根を植えました。春に花が咲くのが楽しみですね。

ご協力
ありがとうございました

【5年】服のチカラプロジェクト

回収ボックスは少人数
教室で保管しています。



◎「世界各地にいる難民の人たちの命を救おう」と、5年生がポスターや放送で全校に呼びかけて、11月4日～11月14日までの10日間、ご家庭で余剰となっている衣服の回収を行いました。『服のチカラプロジェクト』とは、ユニクロやジーユーで知られるファーストリテイリング社がUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)と連携して、小中学生を対象に行っている参加型学習です。本校では、毎年出前授業で服の再利用について学んだ5年生が、着るものが多く不自由な暮らしをしている難民の人たちのために、自分たちでポスターを作り、放送やお手紙で協力の依頼をしてきました。その呼びかけに答えて、子どもたちは毎朝、たくさんの服を袋に詰めて学校まで持ってきてくれました。皆様のご協力のおかげで、洗濯された清潔な服がたくさん集まりました。5年生が服の仕分けを行い、ユニクロ折尾店に引き取っていただきます。皆様の温かい心遣いが、難民の人たちの心と体を包んでくれることを願っています。